北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光形態論	科目コード	1426	単位数	2
担当者名	山田　勅之	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	C,F	実務経験	無
ナンバリング	KTo605	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

近年、体験や交流の要素を取り入れた観光形態やテーマ性の強い観光が注目されるようになり、従来観光資源として認識されてこなかったものが、観光客をはじめ、様々なアクターたちの「まなざし」を受けるようになっています。本講義では、現代観光の諸相について、具体的な事例を挙げながら、観光学の論点から考察します。これにより、ポストモダンの現象が典型的に顕現する観光の現場を深く理解することができます。

到達目標

・現代観光の諸相の現状や課題を理解し、説明することができます。
・観光の現場からポストモダンの現象を理解し、説明することができます。
以上から、観光の現場で実践できる基礎力の獲得を目指します。すなわち、幅広い国際的教養に基づいて、グローバルに活躍できる力を身につけることができます。

授業内容

1週目 オリエンテーション　観光の諸相
2週目 エコツーリズム①　ネパール・ヒマラヤトレッキング
3週目 エコツーリズム②　オーストラリア・タスマニア島
4週目 エコツーリズム③　ボルネオのオランウータン保護と観光
5週目 宗教ツーリズム①　インド・バラナシ巡礼
6週目 宗教ツーリズム②　モンゴル・チンギスハーン廟
7週目 ボランティアツーリズム　ボランティアの「パッケージ化」
8週目 ダークツーリズム①　戦争遺構の「見せ方」
9週目 ダークツーリズム②　公害の「見せ方」
10週目 エスニックツーリズム①　コロニアリズムと博覧会
11週目 エスニックツーリズム②　ポストコロニアリズム(1)
12週目 エスニックツーリズム③　ポストコロニアリズム(2)
13週目 サステイナルツーリズム①　マレーシア・ペナン島（ジョージタウン）のコミュニティ・ベースド・ツーリズム
14週目 サステイナルツーリズム②　ブータン
15週目 まとめ：小論文作成
16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

参考書や関連の文献に基づいて予習を行う（1時間程度）。
毎授業配布するレジュメの復習をする（1時間程度）。

成績評価の方法・基準

授業時に実施する小レポート　50%
小論文　50%

履修上の留意点

・毎講義、質問やアンケートへの回答、及び小レポートの提出を課します。これらのうち、小レポートを除いてmanaba上で行いますので、スマホやタブレット、ノートパソコンなどのモバイル端末を持参ください。小レポートはレポート用紙を配布するので、回答のうえ提出します。
・遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。改善されない場合は不合格となることがあります。欠席・遅刻は授業参加度の観点から管理しますので、注意ください。
・毎回配布するレジュメはまとめの小論文作成に必要となるので、保管しておくこと。
・本講義は第５セメスター「観光文化論」の応用科目という位置づけです。「観光文化論」を学習しておくと、理解が深まります。

課題に対するフィードバックの方法

・小レポートは基準に基づいて3～5段階に評価して返却します。返却はLMS上で行います（学内アクセスポイントを使用予定）。
・期限内に小レポートを提出できない場合、欠席扱いとするので注意してください。

テキスト

特になし。毎授業レジュメを配布する。

参考書

大橋昭一・橋本和也・遠藤英樹・神田孝治編『観光学ガイドブック』（ナカニシヤ出版）3080円
遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著『現代観光学―ツーリズムから「いま」がみえる』（新曜社）2310円

更新日付

2026/01/26 02:08